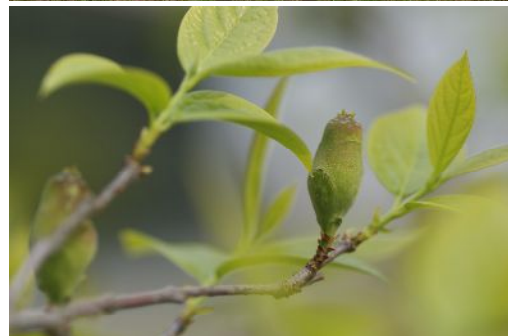


蠟梅 Now

季節の移ろいに何か異変が起こっているのだろうか。当法人のシンボル・ツリー「蠟梅」が記念植樹から6年目のシーズンに、それまでは年が明けてからであったものが、初めて12月に開花した。年末に暖かい日が続いたのが影響したようだが、温暖化の進行の一端ではないか、とつい考えてしまう。

蠟梅の開花以降、身近なところでは、梅、桜、桃、木蓮、花水木、躑躅、皐月と次々に先を争うように花をつけてきた。桜は花の散り際の潔さが日本人の人生観と相通ずる一面があって、絢爛豪華、刹那的などといわれながら、多くの人に万感の思いをこめて眺められてきた。桜の開花時期に寒暖の繰り返しが起こり、見事な散り際のタイミングを取り損ねたかのように、今年は桜を長く愛でることができた。北極振動と呼ばれる北からの寒気の吹き出しが原因で日本付近が寒くなる現象が一つの要因のようである。

わが蠟梅の方はというと、寒さを厭うこともなく、年中行事の一つだといわんばかりに、芳香を漂わせる可憐な花を着けただけの枯れ枝同然の状態から芽を吹き、それらが瑞々しい若葉に成長し、全体を覆い、緑のたくましい生命体に変貌している。加えて、子孫繁栄を願うかのように数多の果実をつけ始めている。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信
〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7
TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)
E-mail : info@npo-ffk.or.jp
URL : <http://www.npo-ffk.or.jp>